

広報

# にしあいつ

No. 676

2

2015  
(平成27年)

## 高く舞い上がる炎に 一年の無病息災願う

P 2～5 総合計画 基本計画[後期]決まる

4月1日スタート

P 6～7 全国人権作文コンテスト福島県大会

高橋さんに奨励賞

P 8～9 お済みですか 申告準備

町・県民税、所得税 申告日程



# 基本計画「後期」決まる

## 4月1日スタート

笑顔あふれるあしたへ。



写真＝第2回総合計画検討会議での基本計画  
[前期]の評価・検証作業（昨年6月16日）

町では、総合計画（計画期間Ⅱ平成22～31年度）の中で、平成27年度から31年度までのまちづくりの取り組み、目標を定める基本計画「後期」を策定するため、総合計画検討会議を設置し、昨年6月2日から検討作業を行ってきました。

9回にわたる検討会議、町民の皆さんへの意見公募、さらに町民懇談会を経て、まとまった計画原案は、昨年12月に開かれた町議会定例会で議決され決定しました。

今月は、総合計画検討会議の委員を務めた2人のインタビューと計画の重点プロジェクト（4、5）について掲載します。

現在の総合計画は、町の10年後を展望した計画として平成22年3月に策定しました。今年度が基本計画「前期」の最終年度であるため、来年度から5年間の基本計画「後期」を今年度、策定しました。

計画の検討作業は、町民の皆さんで組織する総合計画検討会議を設置し、町職員23名で構成する基本計画策定プロジェクトチームと連携し、計画づくりを進めてきました。

町では、この基本計画「後期」の冊子を2月末ごろまで全戸に配布する予定です。

### 計画づくりの経過

平成26年5～6月Ⅱ基本計画策定プロジェクトチームおよび総合計画検討会議が発足▼前期計画の評価・検証作業（第1～3回検討会議）

7～9月Ⅱ評価・検証結果をもとに後期計画に盛り込む内容を検討（第4～7回検討会議）

10月Ⅱ意見公募する計画素案の策定完了（第8回検討会議）

11月Ⅱ町議会に計画素案を報告▼素案を公表し町民懇談会を開催（町内5会場）▼意見公募を実施▼計画の最終見直し（第9

総合計画Ⅱまちづくり基本条例で定める町の最も基本となる最上位の計画で、町の将来像や、その実現に向けた取り組みが記された、いわば設計図で、総合計画は多くの町民参加によって策定することになっています。

### 総合計画検討会議委員

アドバイザーⅡ会津大学短期大学部・石光真教授

座長Ⅱ三瓶純一（山浦）

副座長Ⅱ齋藤和則（上野尻）、

星眞智子（漆窪）

委員Ⅱ荒海與志男（さゆりが丘）、青津榮子（縄沢）、石川純一（2町内）、伊藤てる子（6町内）、上野敏貴（6町内）、大森茂樹（磐梯町）、小原利道（宝川）、小堀晴野（西林東）、佐藤健吾（上野尻）、鈴木朋美（松尾）、高松梓（西林東）、田中英喜（6町内）、古川喜春（橋屋）、矢部佳宏（中ノ沢）、渡部雅二郎（黒沢）〔敬称略〕



**三瓶 純一** さん [山浦]

さんぺい・じゅんいち 総合計画検討会議の座長を務め、計画の取りまとめに尽力。検討分野は観光振興、定住・交流促進グループに所属。基本計画[前期]の検討にも委員として携わる。

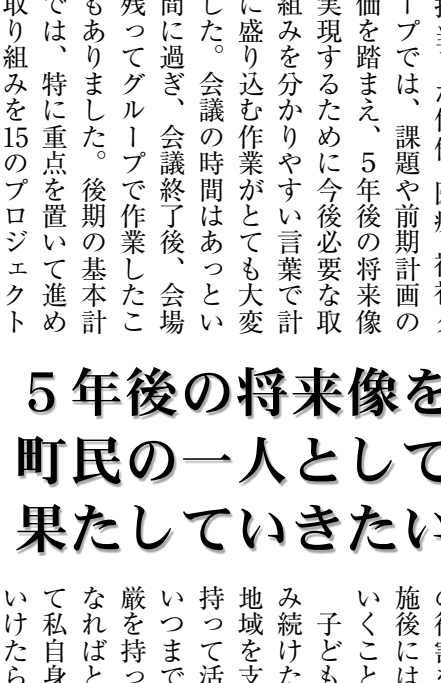
後期の計画では、15の重点プロジェクトをまとめたことで町民の皆さんに分かりやすい形になったと思います。計画が出来上がり、いよいよこれからがまちづくりのスタートです。行政には、法律に則り義務的に運用される「守りの政策」と、地域に価値を生み出し、町を差別化するような「攻めの政策」とがあります。過疎・高齢化、人口減少の課題が深刻になる中、

## これからが、まちづくりのスタート 計画を手引書として、町民みんなが まちづくりに参画する契機になれば

私自身は、豊かで魅力あるまちづくりに向け、産業振興や若者定住のための攻めの政策に取り組み、住んでみたい町、行ってみたい町になればと期待しているところでは、本当に難しいと思います。産業を興す仕組みづくりや支援が必要だと考えます。近ごろ観光交流が活発になり、また、若者が奥川に移住するといった明るい話題もあります。この計画をまちづくりの手引書として町民みんなが理解し、自分たちの町をより良くするため、行政と一緒に行動することが大切です。それこそが協働だと思います。町民みんながまちづくりに参画し、5年後の目標を達成し、何より次の世代、若者にとって住みよく、西会津町に残って生活できるような町になればと願っています。

### 意

欲あふれる検討会議委員、プロジェクトチームの皆さんの作業によって大変いい計画がまとまったと思います。また今回、前期の基本計画の達成度や反省を踏まえて計画づくりができたことは非常に良かったと考えています。関係者の皆さんに心から感謝します。



**鈴木 朋美** さん [松尾]

すずき・ともみ 総合計画検討会議委員として基本計画[後期]の策定作業にあたる。保健・医療・福祉・コミュニティー分野を担当。

### 委

員になってもらいたいと依頼を受けたときは「私が基本計画策定の場に」と思いましたが、検討会議に参加し、委員や町職員の皆さんと意見を交わす中で、自分が暮らす町全体をあらためて知る良い機会になりました。みんなの意見や思いがまとまった計画が出来上がったと思います。担当した保健・医療・福祉グループでは、課題や前期計画の評価を踏まえ、5年後の将来像を実現するために今後必要な取り組みを分かりやすい言葉で計画に盛り込む作業がとても大変でした。会議の時間はあっという間に過ぎ、会議終了後、会場に残ってグループで作業したこともありました。後期の基本計画では、特に重点を置いて進める取り組みを15のプロジェクト



## 5年後の将来像を実現するため、 町民の一人として、できる役割を 果たしていきたい

計画案がまとまると、町民の皆さんにその内容を説明し、意見を求める町民懇談会が開催され、計画案に無かった意見を計画に反映することができました。まさに町民の声に耳を傾けながらの作業になったと思います。この計画を実行していくためには町民・議会・行政がそれぞれの役割を果たし、そして事業実施後には評価し、次につなげていくことが大事だと考えます。子どもたちが希望を持って住み続けたいと思う魅力ある町、地域を支える若い世代が誇りを持って活躍できる町、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で尊厳を持って過ごせるような町になればと望み、町民の一人として私自身できる役割を果たしていきたいと思っています。

# 重点プロジェクト15

## 総合計画 基本計画〔後期〕



平成27年度から5年間は、次の15のプロジェクトに重点を置いて取り組んでいきます。このプロジェクトの実施にあたっては、まちづくり基本条例に基づき、町民、議会、行政が一体となった「協働」により進めていきます。

### 02

#### 小中連携教育強化・学力・体力向上

プロジェクト  
こころ豊かな人を育む

向上にも力を入れ取り組んでいきます。

西会津小学校新校舎の整備が完了し、小中学校ともに充実した教育環境が整います。今後は、小中連携教育を推進し教育のさらなるレベルアップを図ります。また、タブレット端末を授業に導入し、児童・生徒の学力の向上を目指すほか、体力の

#### 認定こども園整備・子育てサービス充実

子どもは町の宝です。誰もが安心して子どもを育てられる町を目指し、多様な保育サービスを提供できる「認定こども園」を新たに整備します。認定こども園には「子育て支援センター」と「放課後児童クラブ」を併設し、総合的な子育て支援を実施していきます。

### 01

プロジェクト  
こころ豊かな人を育む

### 03

プロジェクト  
こころ豊かな人を育む

#### 「仮称」町民文化センター整備・推進

町の中心部に、講演会や音楽会などを開催できるホールを備え、町民誰もが集い、学び、交流できる「仮称」町民文化センター」の整備を検討していきます。この施設には避難所機能を持たせ、大型駐車場や多目的公園も併設し、イベントなどに活用できる施設として検討します。



### 05

#### 地域連携販売力強化施設整備・道の駅にしあいつ利用者拡大

プロジェクト  
豊かで魅力あるまちづくり

加、交流人口の拡大につなげていきます。

交流物産館よりつせの隣接地に、新たに「地域連携販売力強化施設」を整備し、道の駅機能の充実・強化を図ります。新しい施設では、ミネラル野菜を中心とした地元産農林産物販売や農林産物加工品の提供など、町ならではの特色を出し、利用者数の増加、交流人口の拡大につなげていきます。

### 04

#### 農林産物ブランド化・農林業活性化

プロジェクト  
豊かで魅力あるまちづくり

者の就農をトータル的に支援していきます。

農業は町の基幹産業です。農家所得の向上を目指し「ミネラル野菜」や「菌床キノコ」の生産拡大を図り、産地化・ブランド化を推進します。稲作にあつては、コストの削減に向け集落営農や法人化を推進します。また、農林産物加工や若者の就農をトータル的に支援していきます。

### 06

プロジェクト  
豊かで魅力あるまちづくり

#### 商業・地場産業活性化・企業誘致推進

若者が定住できる町を目指し、新たな企業の誘致を推進するほか、町内で起業する若者を支援します。既存事業所に対しては町工業会の協力を得ながら実効性の高い支援をしていきます。また、商業は、道の駅との連携により、まちなかへの誘客を図り、商店街の活性化につなげていきます。



# 08

## ケーブルテレビの町・情報化推進

### プロジェクト

豊かで魅力あるまちづくり

活用し、活力あるまちづくりにつなげていきます。

西会津町は、町全域をカバーするケーブルテレビを有し、行政情報、地域情報、防災情報などを町民の皆さんに提供しています。また、町がプロバイダーになりインターネットサービスを提供しています。これらの情報基盤をさまざまな分野で有効に

# 07

## 観光・交流・定住推進・地域活性化

### プロジェクト

豊かで魅力あるまちづくり

観光地づくりを進め、観光客の拡大を図ります。

「住んでみたい、行ってみたい町へ」を目指し、にしいまちづくりを推進し、観光協会との連携のもと、着地型観光の推進を図ります。また、こうした活動から西会津ファンを増やし定住人口の拡大につなげていきます。既存観光資源については、新たな視点で



# 09

## プロジェクト

人と自然にやさしいまちづくり

### 「健康がいちばん」町民健康づくり・医療充実

町では、「健康がいちばん」を合言葉に、食・運動・検診の3つを柱とした健康づくりに取り組んでいます。これらの活動を推進し、町民誰もが健康で長生きできるまちづくりを進めます。また、町国保診療所の医師4人体制を維持し、在宅医療についても充実を図ります。

# 11

## 地域コミュニティ活性化

### プロジェクト

人と自然にやさしいまちづくり

より地域活性化に向けた活動を支援していきます。

高齢化により、集落の維持が困難な集落が発生しています。今後、集落支援員制度を活用し、集落の見守り・支援を強化していきます。また、「活力ある地域づくり支援事業」の充実や「地域おこし協力隊」との連携などに

# 10

## 高齢者地域包括ケアシステム構築

### プロジェクト

人と自然にやさしいまちづくり

高齢者地域包括ケアシステムを構築していきます。

町の高齢化率は年々上昇しており、高齢者のみの世帯が増えていきます。高齢者の皆さんが安心して西会津町で生活していけるよう、包括的に支えていく体制づくりが急務となっています。このため地域と医療、介護、関係機関が連携した高齢者地域包括ケアシステムを構築していきます。

# 12

## プロジェクト

人と自然にやさしいまちづくり

### 縦貫道路整備促進・安全安心の道づくり

西会津町縦貫道路は、町の均衡ある発展と地域活性化に欠かせない道路です。早期開通を目指し事業を推進します。また身近な生活道路の整備や老朽化が進む道路舗装、橋についても計画的な維持修繕を行い、安全安心な道づくりを進めます。

# 13

## プロジェクト

人と自然にやさしいまちづくり

### エネルギー地産地消の町を推進

東京電力福島第一原発事故を受け、再生可能エネルギー導入の動きが加速しています。町では、公共施設や一般家庭での再生可能エネルギー導入を促進します。町内の森林から燃料を生産し、地域で消費するエネルギーの地産地消を推進します。

# 14

## 災害に強い安全安心なまちづくり

### プロジェクト

人と自然にやさしいまちづくり

強化し、災害に強いまちづくりを進めていきます。

近年、想定をはるかに超える自然災害が全国各地で発生し、多くの人命が奪われています。町では、人命にかかわるような災害は近年発生していませんが、日ごろから防災を意識した取り組みが必要になっていきます。関係機関との連携を

# 15

## 新しい町役場庁舎整備

### プロジェクト

計画の推進に向けて

セス道路も含めて整備を図ります。

平成27年3月をもって空き校舎となる西会津小学校の校舎を有効活用し、町役場庁舎を設置します。町役場は、町の顔となる施設であり、災害時には対策本部を設置する施設です。さまざまな場面で町民の皆さんが安心して町役場を利用できるよう、アーク



# 全国人権作文コンテスト

# 福島県大会

# 高橋さんに奨励賞

次代を担う中学生の皆さんが、家庭生活や学校生活などで得た体験に基づく作文を通して、人権尊重の大切さや基本的人権について理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けることを目的に法務省などが実施する全国人権作文コンテスト福島県大会で、西会津中学校3年の高橋晃樹さん（樟山）が奨励賞を受賞しました。

表彰伝達式は12月18日、西会津中学校で行われ、福島県方法務局若松支局の菅野好晃支局長が高橋さんに表彰状を贈りました（上写真）。

若松支局管内では今年度のコンテストに698人の中学生が、いじめや障がい者、差別、人権の尊重などの人権問題に向き合い、自分の思いをつづった作品を応募しました。応募作品の審査の結果、高橋さんの作品が県大会に推薦され、奨励賞に輝きました。

今月は、奨励賞を受賞した作品「命の重み」を紹介します。皆さんも人権についてあらためて考えてみませんか。

右から福島県方法務局若松支局・菅野好晃支局長、長谷川徹教諭、高橋さん、板橋健一校長、人権擁護委員・田崎映子さん、同・伊藤政憲さん



近、テレビをつけければ聞こえてくるのが「長崎県佐世保市・同級生殺人」事件についてのニュースだ。被害者、そして、その家族のことを思うと、胸が締めつけられるように苦しく深い悲しみに包まれる。なぜ、このような事件が起きてしまったのか。その背景や原因をぼくなりに考えようとしてはみたものの、分からないことばかりで全く理解に苦しむところである。「被害者は仲の良い友達の人」「ネコを虐殺したら楽しかったので、人を殺してみたかった」「人間で試したいと思うようになった」「これらの供述を淡々と述べ、いまだ反省や謝罪の言葉は口にしていない」という加害者の心理状態は、今回のこの事件の特異性をふまえ、女子生徒の供述内容の真偽や、刑事責任能力の有無などを捜査段階で慎重に見極める必要があると判断し、家裁送致前の捜査段階での精神鑑定を実施する方針を固めたとのことであるが、もし、仮に、その精神鑑定によって、責任能力が「無」と判断されるようなことになれば、これからの未来に夢や希望を持つて生きようとする「権利」や「大切な命」そのものを奪われてしまった被害者のやり場の

ない思いや無念さはどうなってしまうのだろうか。ぼくは、いかなる理由があるにせよ、人が人の命を奪う行為は決して許されるものではないと思う。

今、ぼくたちは、物があふれ何不自由の無い豊かな社会に生きている。食べたい物、着たい服、読みたい本、考え方、すべてが思い通り、自由になる社会だ。当たり前の「権利」や「自由」が保障され、幸せに暮らしている一方、ぼくたち日本人は、当たり前前の「大切な何か」を忘れてしまっているのではないか。守られるべき「権利」や「自由」は、決して自己本位的なものではないはずにもかかわらず「人の命」さえも勝手に奪い、奪われてしまう今の日本社会、豊かさゆえの日本人の心の歪みが、とても悲しいと思う。

は、日本の悲しい歴史上に成り立っているはずである。わずかに70年ほど前の日本は、戦争が激しさを増す中、戦争を進めるために国を批判するような言動や思想は一切禁止され、ぼくたちと同じ年齢の若者たちは赤紙という召集令状一枚で戦地へかり出され、そして、戦地へと引きずり込まれていったのだ。そこに、個人の「権利」や「自由」などという概念は存在せず、国

人権について調べてみると「人が人である以上、当然持っている権利」と書かれていることが多いが、要するに、「人が生まれながらに持っている権利であり、誰もが自由に生きること、を邪魔されないこと」なのだ、ぼくは思う。法に守られ、豊かな社会に生きるぼくたちだからこそ、今、あらためて「命の重み」についてしっかり向き合いたい。考えなくてはならない。「むかつ

ないのだ。権利や自由を主張するために、必ず「義務」や「責任」があるのだということも忘れてはいけないと思う。

ぼくの好きな「命のうた」という歌詞の中に、「生きてゆくことの意味、問いかけるその度に、胸をよぎる愛しい人々の温かさ、本当に大事なものは隠れて見えない。生まれてきたこと、育ててもらえたこと、出会ったこと、笑ったこと、そのすべてにありがとう」という言葉がある。ぼくは、この歌詞が大好きだ。確かに、嫌なことも大変なことも、他人を羨んで自分の気持ちに負けそうになることもたくさんある。でも、そんな時でも、ぼくの周りには、家族がいて、友達にいて、先生方がいて、どこかで誰かが必ず支え力になってくれている。毎日の何げない生活の中にたくさんの喜びや温もりがあつて、そんなたくさんの人たちの中で、ぼくは生き、生かされている。一人一人の「命の重み」はみんな平等で、勝手に傷つけ奪われるようなことは決していけない。お互いがお互いを尊重し合い当たり前前には手を合せて温かな社会を築いていけるよう、そして、あのような悲惨な事件が二度と起こることのないよう、そう願いたい。これからは、歩んでいきたいと思います。

## 「命の重み」

西会津中学校 3年

高橋晃樹

てい一方、ぼくたち日本人は、当たり前前の「大切な何か」を忘れてしまっているのではないか。守られるべき「権利」や「自由」は、決して自己本位的なものではないはずにもかかわらず「人の命」さえも勝手に奪い、奪われてしまう今の日本社会、豊かさゆえの日本人の心の歪みが、とても悲しいと思う。

の権力が人権をおさえつけていた、と社会の授業で学習した。この時代の人々は、きっと「生きること」に必死だったに違いない。生きたくても生きられなかった人たちがたくさんいたはずだ。

くから「ついカッとなって」などという理由で、自分の命や他人の命を傷つけるようなことがあつてはいけない。自分の命同様、ほかの人の命も大切にしなければならぬし、それが侵されるような社会は、やはりいけないと思う。「人権」があるからどんなことをしても「自由」かということでは決してなく、犯罪や他人に迷惑をかけるような行為は、当然自由などとは言え

ないのだ。権利や自由を主張するために、必ず「義務」や「責任」があるのだということも忘れてはいけないと思う。

ぼくの好きな「命のうた」という歌詞の中に、「生きてゆくことの意味、問いかけるその度に、胸をよぎる愛しい人々の温かさ、本当に大事なものは隠れて見えない。生まれてきたこと、育ててもらえたこと、出会ったこと、笑ったこと、そのすべてにありがとう」という言葉がある。ぼくは、この歌詞が大好きだ。確かに、嫌なことも大変なことも、他人を羨んで自分の気持ちに負けそうになることもたくさんある。でも、そんな時でも、ぼくの周りには、家族がいて、友達にいて、先生方がいて、どこかで誰かが必ず支え力になってくれている。毎日の何げない生活の中にたくさんの喜びや温もりがあつて、そんなたくさんの人たちの中で、ぼくは生き、生かされている。一人一人の「命の重み」はみんな平等で、勝手に傷つけ奪われるようなことは決していけない。お互いがお互いを尊重し合い当たり前前には手を合せて温かな社会を築いていけるよう、そして、あのような悲惨な事件が二度と起こることのないよう、そう願いたい。これからは、歩んでいきたいと思います。

# お済みですか 申告準備

## 申告の受付は2月10日～3月16日

今年も町・県民税の申告、所得税の確定申告の時期を迎えました。町では、2月10日から町・県民税の申告納税相談を行います。この相談では、平成26年中(昨年1月から12月まで)にあった所得について申告します。申告は、平成27年度の町・県民税、国民健康保険税などの課税の基礎になる大変重要なものです。日程や会場は9ページのとおりです。忘れずに申告手続きをお願いします。

### 申告が必要な人

ポイント1

- 1 平成27年1月1日現在、町に住所があって、次のいずれかに該当する人は申告が必要です。
  - 1 営業、農業などの事業所得があった人
  - 2 家賃、地代などの不動産所得があった人
  - 3 株式の配当や生命保険の満期による所得があった人
  - 4 年金収入とそれ以外の複数の収入があった人
  - 5 給与所得者のうち
    - ① 給与以外の収入がある人
    - ② 給与を2カ所以上から受けた人
    - ③ 中途退社やパートなどで年

### 記帳・帳簿保存

ポイント2

- 6 収入が公的年金のみで社会保険料控除や生命保険料控除を受ける人
- ※ 税務署で確定申告する人、所得税の青色申告を行う人、また電子申告「e-TAX」で手続きする人は、町での申告は必要ありません。
- 農業を含む個人事業や不動産事業、山林事業などを行う人は、今回の申告から記帳、帳簿書類の保存が必要になります。所得税の確定申告が不要な人もこの保存制度の対象になります。具体的には収入金額や経費を記載した帳簿、受け取った請求書や領収書などを5年から7年の一

### 農業所得は

#### 収支計算で

ポイント3

農業所得の計算は収支計算の方法になります。申告の際、昨年1年間の収入と経費を確認させてもらいますので、支払った内容、月日が分かる領収書、通帳などの書類を整理し準備してください。なお、農業所得関係計算書については、各世帯に配布しています。事前に作成し、持参してください。この計算書が無い場合、受付できませんので必ず作成してください。

#### 【問い合わせ先】

町民税務課・税務係  
☎ 45-2212

### 障害者控除

#### の対象者

ポイント4

所得税法では、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者のほか、65歳以上で身体障害者手帳、療育手帳の所持者に準ずる人も障害の程度によって「障害者」「特別障害者」として所得控除の対象とされています。

介護保険の要介護、要支援の認定にかかわらず、町から「平成26年中の障害者控除対象者」として認定を受けた人は、所得控除の対象になりますので、申告受付時までに認定書の交付を受けてください。

#### 【問い合わせ先】

健康福祉課・福祉介護係  
☎ 45-2214

### 確

定申告の受け付けにあたって喜多方税務署では「申告書作成会場」を税務署2階に開設しています。ご利用ください。

#### ◆開設期間

2月2日(月)～

3月16日(月)

#### ◆開設時間

午前9時～午後5時

### 喜多方税務署から

#### ◆注意事項

土・日曜、祝日は開設していません。

申告書作成会場の終了時間は午後5時です。で、お早めに来場ください。

#### ◆問い合わせ先

喜多方税務署  
☎ 0241-24-5050





# 申告納税相談カレンダー

月	日	曜日	午前受付	午後受付	会場 受付時間
2	10	火	杉山・松峯・弥平四郎・弥生	山浦・出戸	奥川支所 午前受付 9時30分～11時 午後受付 1時～3時
	12	木	小山・小屋・極入	新町・真ヶ沢・宮野	
	13	金	道目・中ノ沢	向原・小綱木・大舟沢	
	14	土	中町・梨平		
	16	月	塩・下松		
	17	火	滑沢・滝坂	小清水・漆窪・呼賀	町公民館 午前受付 8時30分～11時 午後受付 1時～4時
	18	水	井谷・八重窪・橋屋・戸中	荒木・高目・原	
	19	木	平明・新村・樟山	上野尻4・下野尻1・徳沢	
	20	金	宝川・楢木平	上野尻1・上野尻2・下野尻3	
	23	月	白坂・屋敷・熊沢	上野尻3・上野尻6・端村	
	24	火	柴崎・橋立	上野尻5・下野尻2	
	25	水	森野	牛尾・山口	
	26	木	安座	下小島	
	27	金	萱本	縄沢	
28	土	予備日[地区指定なし]			
3	2	月	松尾	小杉山・黒沢	町公民館 午前受付 8時30分～11時 午後受付 1時～4時
	3	火	西林東・さゆりが丘	上小島	
	4	水	青坂・程窪・泥浮山・長桜・軽沢	堀越	
	5	木	西林・出ヶ原	大久保・中野	
	6	金	尾登	芝草	
	9	月	9町内2	下小屋・西原	
	10	火	1町内・芹沼	2町内・3町内	
	11	水	4町内・西平・四岐	5町内・塩喰	
	12	木	6町内・7町内	10町内・牧	
	13	金	8町内	9町内1	
	15	日	予備日[地区指定なし]		
16	月	予備日[地区指定なし]			

## 【ご協力をお願いします】

1. 予備日は混雑が予想されますので指定日時に申告ください。
2. 指定日時以外または予備日に申告される場合は、事前に町民税務課(☎45-2212)に連絡ください。
3. 午前、午後とも受付時間内に受け付けを済ませてください。

## 次を必ず持参ください

収入金額が分かる書類など必要なものが無い場合、原則として申告相談に応じることができません。忘れずに持参してください。

- ①印鑑
- ②事業所得、不動産所得、配当所得、一時所得などの収入金額が分かる書類(帳簿)
- ③給与所得の人は、勤務先から交付された源泉徴収票

申告に  
必要なもの

- ④諸控除の証明書や領収書、具体的には、生命保険・個人年金控除証明書、建物地震(火災)保険証明書、国民年金の領収書、医療費の領収書など
- ⑤農業所得のある人は、水利組合費、土地改良費、農機具代などの領収書
- ⑥税務署から確定申告書が届いた場合は、その申告書
- ⑦還付を受ける場合は、通帳および届出印鑑

## 秋の叙勲伝達 宮澤一さんに瑞宝単光章

宮澤一さん(山浦)が秋の叙勲で瑞宝単光章を受章しました。伝達式は12月18日、町役場で行われました。式では、県会津地方振興局の須藤浩光局長が宮澤さんに勲記と勲章を伝達しました。宮澤さんは昭和37年、消防団に入団し、以来37年の長きにわたり住民生活の安全確保に尽力しました。平成10年からは第5分団長を務め災害や火災現場で手腕を發揮しました。伝達に立ち会った伊藤町長は「今後も後進の指導をお願いします」とあいさつしました。宮澤さんは受章にあたり「住みよいまちづくりのため、できる限り協力していきたい」と述べました。〔写真=須藤局長から勲記を受け取る宮澤さん、左は妻の恭子さん〕



## 新年祝い飛躍誓い合う 新春交歓会

新年の幕開けを祝う新春交歓会が1月9日、町公民館で開かれ、町民の皆さんら約200人が出席しました。伊藤町長は「本年4月から総合計画・後期基本計画5カ年の事業がスタートします。町の資源、地域の力を生かし協働でまちづくりに取り組んでいきます」とあいさつしました。武藤道廣町議会議長のあいさつ、来賓祝辞の後、雅喜会の千葉雅喜松さんが新春の「桜扇の舞」を披露し、交歓会に花を添えました。伊藤眞一町商工会長の発声で乾杯し、祝宴に移り、出席者は歓談しながら新年の一層の飛躍を誓い合いました。〔写真=威勢よく鏡開きを行う伊藤町長、武藤町議会議長と来賓の皆さん〕



## 一年の防火・防災に決意新た

消防出初式が1月4日に行われ、町消防団、消防支援隊、女性消防隊、消防関係者ら約250人が今年一年の防火、防災への決意を新たにしました。熊野神社で無火災祈願祭を行った後、団員らは雪が舞う中、一条乱れぬ力強い分列行進を披露しました(写真)。出初式では、江川新壽団長が「万一の災害に備え、町民の生命、財産を守るため尽力願います」と訓示し、伊藤町長は「火災ゼロ、災害ゼロを目指して一致団結した取り組みをお願いします」とあいさつしました。来賓祝辞の後、目黒豊子女性消防隊長が「無火災への誓い」を述べました。出初式会場の道の駅では、無火災を祈願し餅つきが行われ、つきたての餅が振る舞われました。



## 「福よ、来い」縁起物求めにぎわい 野沢初市

1月13日、野沢初市が野沢駅通りで開かれ、縁起物の起き上がり小法師や風車などを買い求める人でにぎわいました。野沢初市は天候が悪い「荒れ市」といわれますが、今年は曇り空の穏やかな天候になりました。午前11時から神事が行われた後、野沢駅通り商店会の伊藤眞一会長が「中央商栄会と力を合わせ経済活性化にまい進します」とあいさつし、伊藤町長は「今年は野沢まちなか整備、道の駅内の地域連携販売力強化施設をかたちにしていきます。皆さんのご協力をお願いします」と祝辞を述べました。続いて鏡開きを行い商売繁盛を祈願しました。駅通りには約40の露店が並び、買い物客を呼び込む売り子の声が飛び交いました。

# 肺の生活習慣病COPDとは

シーオーピーデー

## 長引く咳は風邪ではないかもしれません

皆さんは、COPDとは、どのような病気かご存じですか。COPDは有害物質、主に「たばこ」の煙などによる長期間吸い込むことよって起きる肺の病気です。この病気は予防や治療ができる病気といわれ、禁煙が治療の第一歩になります。

今月は、長年、禁煙治療にあたってきた西会津診療所の坂田医師に病気についての解説をお願いしました。



最近テレビなどでよく耳にするCOPDについて簡単に説明します。COPDは別名「慢性閉塞性肺疾患」または「肺の生活習慣病」といわれます。「たばこ」とのかわりが深く、喫煙者の約2割が、非喫煙者も受動喫煙によってCOPDになることがあるといわれています。COPDになると肺の奥の気管支が炎症しむくんだり、肺の末端で酸素と炭酸ガスを交換する肺胞が壊れたりして、酸素を取り込みにくい状態になります。一度壊れた肺胞は再生されないため、元の健康な肺には戻りません。病気はゆっくり進行して徐々に悪化し、やがて日常的に酸素治療が必要となり、最期は呼吸不全で死に至る病気です。



ごく初期は無症状で、

## 大切なのは、早めの『断煙』

西会津診療所 坂田 敏夫 医師

動作時の息切れ、咳、たんといった症状があらわれ、風邪が長引くことも注意すべき症状です。診断は、スパイロメーターという器具を使って肺年齢を推定します。1秒間に思い切り吐ける息の量から肺機能を測定します。治療で大切なのは、なるべく初期のうちに断煙することです。食事や運動療法に加え、最近ではさまざまな薬が開発され選択肢が増えました。平成18年からは禁煙治療に健康保険が使えるようになりました。平成20年にはガムや貼り薬より効果的といわれる内服薬が開発されました。現在の標準的な治療は、3カ月間に5回の通院が必要で、自己負担は保険適用(3割負担)で2万円程度です。喫煙を再開してしまった場合でも、初診から1年たてば再度保険が適用されます。

で禁煙に再チャレンジできます。40歳以上で「たばこ指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)」が400以上の人は注意が必要です。そういう私も大学生のころストレス解消のためだったか、たばこを吸い始め10年ほど喫煙者でした。私が30代半ばのころ、小学生の息子に「体に悪いたばこをどうして吸っているの」と言われ、このままではいけないと一念発起し、ぴたりと断煙しました。

悪い習慣だと分かっても惰性で続けてしまうことが少なくありません。病気で入院してはじめて健康のありがたさを知る、とよく言います。何か事に直面し、迫ってこないと行動に変化は起きないものです。「百害あって一利なし」とまでは思いませんが、たばこの健康への悪影響は間違いないようです。病気で通院が必要になる前に、何かをきっかけに健康習慣を身に付け、より長く仕事や趣味などを楽しめる心身を保ちましょう。特に若い喫煙者ほど禁煙をお勧めします。

## COPDセルフチェック

喫煙中の人で、

- ① 動くとすぐに息が切れる。
- ② 軽い運動後でも喘鳴(ぜいせい)、ひゅうひゅうという呼吸音がする。
- ③ 風邪をひいていないのに咳やたんが出るといった症状がある場合は、主治医に相談または内科、呼吸器内科を受診しましょう。



## 禁煙をサポート

町では、禁煙に挑戦してみたいという人のサポートを行っています。

希望者は、スモーカーライザーと呼ばれる機器を使って、自分の呼気中の一酸化炭素濃度を測定し、肺の状態を無料で検査できます。

さらに保健師がその人に応じた禁煙方法を分かりやすく説明し、たばこを吸いたくなってきたときの具体的な対処法なども紹介しています。

禁煙に向けて頑張ってみたいという方は、お気軽に次にご連絡ください。

## 【問い合わせ先】

健康福祉課・健康支援係

☎ 45-4532

塩分を約半分に減らしたヘルシー豚汁  
牛乳でカルシウムを補える一品

やさしいコク  
まるやか  
ミルク  
豚汁

19

材料 (2人分)

豚肉(こま切れ)	50g
にんじん	25g
玉ネギ	50g
ジャガイモ	50g
ネギ(斜め薄切り)	½本
だし汁「水500cc、煮干し(頭と、わたを除いたもの)6g」	100cc
牛乳	100cc
みそ	大さじ1

作り方

- ①煮干しを中火よりやや弱めの火にかけ、沸騰したら火を弱め、あくをすくい取る。ふたをせずに2〜3分煮出して布でこし、だし汁を作る。
- ②にんじんは半月切り、玉ネギは薄切り、ジャガイモはいちよう切りにする。
- ③鍋に①と②を入れて煮る。煮立ったら豚肉を加え、ふたをして弱火で野菜が軟らかくなるまで約10分煮る。牛乳を加え、ふつふつしたら火を止め、みそを加え、ネギを入れる。



チャレンジ!!

シリーズ

食育

●和食の弱点をカバーする「乳和食」

おいしく減塩、しっかりと  
カルシウムを取る



おいしい  
減塩のごつ

だしの活用、調味の工夫で食塩が少なくてもおいしく食べることが出来ます。

**うま味**Ⅱ昆布、かつお節、干しシイタケなどのうま味は薄味の物足りなさを感じます。

**香辛料**Ⅱこしょう、カレー粉、唐辛子などの独特の香味は食欲を刺激します。

**薬味**Ⅱしそ、ネギ、シヨウガ、ニンニクなどの特有の香りが味のアクセントになります。

**酸味**Ⅱ酢、レモン、ゆずなどの酸味は料理の味を引き締めます。

**牛乳・乳製品**Ⅱ牛乳をだしにする。みそ、しょうゆを牛乳で割る。水の代わりに牛乳で煮るなど牛乳・乳製品を使います。サバのミルクみそ煮、ミルク茶わん蒸しなどのレシピがあります。

高

血圧や動脈硬化、虚血性心疾患、脳梗塞、さらに胃がんなどの予防に減塩の食事が有効です。和食には、塩分が比較的多く、カルシウムが不足しやすいというマイナス面があります。そこで最近注目されているのが和食に牛乳や乳製品を加えた「乳和食」です。牛乳・乳製品は料理にコクとうま味をプラスするため減塩に役立ち、さらにカルシウムを取ることが出来ます。毎日の食生活に取り入れてみましょう。

減塩3つのポイント

1 調味料は正確に量る

塩、しょうゆ、みそなどの調味料は、目分量や味覚に頼らず、計量スプーンで正確に量って使いましょう。塩小さじ1は塩分6g、しょうゆ小さじ1は塩分1g、みそ大さじ½は塩分1gです。

2 塩分の高い食品を控える

ラーメンはスープを全部残すと食塩の量が半分になります。みそ汁は具を多くして汁の量を減らし、1日2杯までにしましょう。

ちくわなどの練り製品、魚の干物、ハムやウインナーなどの加工肉、漬物、つくだ煮は食べる回数を減らしましょう。

3 食べ過ぎない

料理に使う食塩の量を減らしても、食べる量が多いと当然、摂取する塩分量が多くなります。



「まちたんけん」で野沢駅を訪れた児童たち

西会津小 学習支援	2年生	どきどきわくわくまちたんけん
	3年生	おとめゆり見学／町めぐり／ミネラル野菜ってなんだろう／キノコ栽培農家の見学
	4年生	町の文化財を知ろう／手作り弁当をデザインしよう
	5年生	ミネラル野菜について調べる
西会津中 部活動支援	卓球部	卓球の技術指導
	剣道部	剣道の技術指導

活動紹介 その1

# 学校支援 ボランティア

地域の皆さんが学校運営をサポート

公民館では、学校・家庭・地域が一体になり地域ぐるみで学校運営をサポートする学校支援本部事業を推進しています。学校からの依頼により、公民館のコーディネーターが要望に応じた講師や活動ボランティアを選任し、今年度は左表の支援を行いました。

6月4日に開催した小学2年生の生活科の授業「まちたんけん」では、5人のボランティアが児童を引率し、町内12の商店や施設を巡りました。8つの班に分かれて実施したため、学校の先生だけでは対応が困難なことから、各班に

- ◆ 一人ずつボランティアの皆さんがついて、あいさつや、お礼などの礼儀作法、移動中の交通ルールなどについて指導してもらいました。
- ◆ 公民館では、次のボランティアを随時募集しています。
- ◆ ゲストティーチャーなどの学習支援
- ◆ 草刈り、花壇整備といった学校環境整備
- ◆ 運動会等の学校行事支援
- ◆ 登下校の安全確保
- ◆ 中学校の部活動支援
- 【問い合わせ先】  
町公民館 ☎45-3244

活動紹介 その2

# 子ども英語教室 タッチ・ザ・ワールド

英語指導助手による国際理解教育

遊びや外国アニメを通して英語に親しみ、外国文化を学ぶ国際感覚を身に付けることなどを目的として、小学生を対象に「子ども英語教室「タッチ・ザ・ワールド」を毎月第2火曜日の午後6時半から開催しています。

講師は、英語指導助手のエレンさんとネイサンさんが務め、低学年の部、高学年の部、合わせて23人が受講しています。

12月9日に開催した教室では、クリスマスについて学習しました。クリスマスに関する単語を映像で見て、耳で聞き、復唱し、またアメリカでのクリスマスのごし方を写真や絵を見て学習



クリスマスツリー飾りを作る子どもたち



講師を務めるネイサンさん(左)とエレンさん(右)

しました。

その後、クリスマスツリーの飾り作りを体験しました。十字型の型紙に毛糸を巻いて四角形の飾りを作りました。児童たちは、初めは、なかなかうまくできませんでしたが、一つ作り終えると要領をつかんで、4個も作って大喜びしている児童がいました。

このほか公民館では、中学生以上を対象に英会話教室を開講しています。この英会話教室は月2回程度、火曜日の午後7時から開催しており、現在、初級、中級合わせて21人が受講しています。



## 町民バトンタッチ

さいとう たける  
斎藤 建さん [3町内]

ふるかわ ひろはる  
古川 大晴さん (1月号) からメッセージ

お互いに成長していきましょう。

あなたの趣味は？  
ゲーム

特技は？  
弓道

熱中していることは？  
アクション映画鑑賞

最近感動したことは？  
待ち望んでいた新車が届いたこと

自分を一言で表現すると？  
優柔不断

あなたのモットーは？  
無駄なことはしない

これからやってみたいことは？  
友達と海外旅行。ヨーロッパに行ってみたい

次の方を紹介してください  
K・Wさん (3町内)

大切なものは？  
『漫画・ジョジョの奇妙な冒険。父が読んでいたので、漫画を読むようになり集めたものです』



## 町民 ギャラリー

## 聞いて！ わたしの夢

### 冬芽俳句会

窓明かり見へて確かや春隣り  
身の丈に心ゆだねて春立てり  
雪原の画布に弓なり阿賀の川  
昏れぎはの透きて明かるき冬の峯  
賑わしき子らの声なく鬼やらひ

岩原 紀子 (五町内)  
喜多 光子 (九町内二)  
鈴木 智子 (きりしが丘)  
鈴木はる子 (十町内)  
渡部 淑子 (四町内)

ここでは西会津中学校の生徒の皆さんに、自分が思い描く夢や目標を話してもらっています。

今月は生徒会総務を務める1年高橋由輝さんです。

### わたしの夢——

「将来就きたい職業は海上自衛官です。歴史が好きで昔の日本海軍に興味を持ち、そのような仕事にかかりたいと思ったからです。また、小学生のとき海上自衛隊の広報官に出会い、海の上で働く楽しさ、自衛官の誇り、そして自衛官は国民のために働いていることを知ったからです。いわき市で行われた艦艇広報に2回参加し、本物の艦艇に乗船して、ますます魅力を感じました」



### 努力していること——

「防衛大学校に入ることを目標に、定期テストなどでは高得点を取ること、また、進学できる高校に入ることを目指して毎日の授業、家庭学習に励んでいます」

### 未来の自分に一言——

「元気ですか。海上自衛官の仕事は苦しいと思いますが、自分らしさや明るさを目いっぱい発揮して夢をかなえてってください」

まちの人口 ～1月1日現在～ (前月比)

人口	7,097人	(-19人)
男	3,415人	(-6人)
女	3,682人	(-13人)
世帯	2,751世帯	(-7世帯)

戸籍の窓口 ～12月受付分～ (敬称略)

お誕生おめでとう

須藤 晴音ちゃん	貴司・佳子	芝草
江川 日和ちゃん	正樹・友子	西原
足立 響輝くん	和也・千保	森野

お悔やみ申し上げます

渡部 ハルエ (87)	百合子	母	1町内
三留 市 (81)	智子	母	6町内
長谷川 昭一 (87)	留三	父	中野座
須藤 秋男 (82)	篤	父	安座
渡部 輝江 (71)	峰明	母	萱本
長谷川 ヤチヨ (101)	眞	母	松尾
石川 博 (66)	博輝	父	尾登
五十嵐 壽子 (80)	和夫	母	下野尻
石村 幸子 (89)	吉男	母	下野尻
武藤 チヨ (92)	建昭	母	中町



喜多方警察署長より感謝状

平成26年に交通安全や防犯活動などの警察業務に功績があった功労者への感謝状贈呈式が昨年12月26日、喜多方警察署で行われました。町内では次の皆さんに國分政康署長から感謝状が贈られました。(写真提供) 西会津交番、前列右から2人目、渡部修さん、後列左から4人目、長谷川幸夫さん)「以下敬称略」

▼個人 渡部修「猟友会喜多方支部副支部長として業務に貢献」長谷川幸夫「除雪など交番業務に貢献」▼団体 西会津ライオンズクラブ「交通安全活動に協力」、西会津町ケーブルテレビ「警察広報活動への協力」

コミュニティ助成で「除雪機」購入



野沢地区克雪活動実行委員会では今年度、一般財団法人自治総合センターからのコミュニティ助成を受け、除雪機1台を購入しました(写真)。

この助成は、自治総合センターが地域社会の発展と住民福祉の向上などを目的に「宝くじの社会貢献広報事業」として行っています。

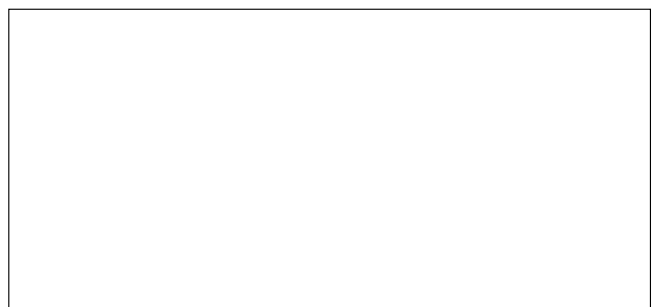
固定資産評価審査委員会新委員長紹介

前委員の辞任に伴い、固定資産評価審査委員会の委員に、新たに伊藤重人さんが選任されました。選任については12月町議会定例会で同意されました。任期は平成26年12月12日から平成28年12月31日までです。伊藤さんは、昨年12月12日に開かれた委員会で委員長に互選されました。固定資産評価審査委員会は、固定資産の評価額に関する不服申出の審査、決定を行います。



委員長 伊藤重人さん(塩)

以下は広告です。内容については、広告主へお問い合わせください。



## 雪に親しみ、友情深める 豊間小と交流

いわき市立豊間小と西会津小の冬季交流が1月16、17日に行われ、両校の児童は8月の夏季交流以来5カ月ぶりに再会しました。豊間から5年生22人が来町。歓迎の集いでは豊間小の日向寺さくらさんが「雪景色に感動しました。皆さんとさらに仲良くなりしたい」とあいさつしました。子どもたちは雪遊び、灯籠作り、雪上運動会を通して雪に親しみながら友情を深めました。



[写真]①歓迎の集いであいさつする豊間小の日向寺さくらさん／②⑤協力し合って作ったカラフルな雪像やかまくらの中に入って記念撮影／③⑩雪上運動会で繰り広げられたソリリレーで仲間の応援を背に競い合う児童／④⑫雪が降る中でもジャンボ滑り台から歓声を上げて滑り下りる子どもたち／⑥⑨雪遊びやみかん拾いを楽しむ児童／⑦⑬雪上運動会むかひで競争で何度も転びながら笑顔でゴールを目指す子どもたち／⑧「2日間で楽しい思い出をつくりましょう」と歓迎の言葉を述べる西会津小5年の後藤佳彦さん／⑪カップを使った灯籠作りを体験する両校の児童たち

### 今月の表紙

町内各地で1月15日、小正月の伝統行事「歳の神」が行われました。野沢10町内では地域の皆さんが昼間、わらで約5尺の歳の神を作り、午後6時に年男、年女が点火。参加者は雪の中、歳の神の火で餅やすめをあぶっていました。火が高く舞い上がると歓声上がり、家族連れらは燃えさかる炎に一年の無病息災を祈願しました。

